

2020 年度 (令和 2 年度)

学校評価自己評価表

大門 中学校区 校番 24 福山市立 大門中 学校

最終更新日 2020年(令和3年)3月1日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。  
 ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力 思考力・判断力・表現力 主体性・積極性 共感力
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども主体の活動を推進する</li> <li>情報発信及び地域行事への参加等により、地域と学校の協力体制を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考力・表現力が弱い。</li> <li>自尊感情は伸びてきたが、主体的に行動する力は弱い。</li> </ul>	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	自ら考え、学び、自尊感情の高い生徒
		中学校区として統一した取組等	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な学びに向けた授業を創る。</li> <li>リーダーチャート等を活用し、学級力や自尊感情を高める取組をする。(年3回アンケート実施)</li> </ul>

III 自校

ミッション	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性	共感力	
確かな学力と豊かな心を備え、物事を深く考え行動する生徒を育成することで、地域の信頼に応える。	めざす子ども像	1年	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を発見している。	生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えを持ち、目的や意図に応じて、論理的に説明をしたり、適切な方法を選択したりして表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、自分から行動している。	相手を思いやることの大切さに気づき、相手の立場を尊重し、行動している。
学校教育目標		2・3年	生活や実社会と関連付けた課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を見つけている。	生活体験や既習事項から判断の根拠や理由を示しながら自分の考えを述べたり、情報を他者と共有しながら、必要な選択し、表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、粘り強くやり抜くことができるよう行動している。	仲間とともに、何かを成し遂げた成功体験をもとに、人と人とのつながりの中で、助け合い励まし合って行動している。
現状	研究	教科等	道徳			
<p>〈児童生徒〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎学力の定着に課題が見られる生徒が固定化している。</li> <li>○生徒自ら課題を解決しようとする自治的な活動が弱い。</li> <li>○自尊感情は高まってきているが、克服し切れていない生徒もいる。</li> </ul> <p>〈授業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の主体的に学ぶ授業づくりに十分なり得ていない。</li> <li>○単元でつける力を系統立てて指導し切れていない。</li> <li>○自分の考えを論理的に表現する力をつけきれていない。</li> </ul>	主題・内容等	主体的に学び、思考力・判断力・表現力を高める授業づくり ～課題発見・解決学習と協働の学びを通して～				
	めざす授業の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の中でつけたい力を意識した、授業展開を行う。</li> <li>・生徒の主体的な学びにつながるように「ねらい」を設定し、それにそって生徒が意欲的な活動を行っている授業を確立する。</li> </ul>				

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 大門中 学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価 (10月1日)			最終評価 (2月末)					
							□指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価	改善方策
6	基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力の育成	★	継続	授業が生徒の主体的な学びにつながるよう授業改善を図る。 【課】【主】	単元指導計画を見直し、授業で生徒の主体的な活動を仕組む。	生徒アンケート「考えたり調べたりするなど主体的に授業に取り組んでいる」を80%以上。	1学期生徒アンケートの肯定的評価は90%である。思考する時間のある授業を行い、生徒も意欲的に取り組んでいる。	3	3	学校全体で期間を設定するなど、生徒が思考する時間のある授業を増やす。	□2学期生徒アンケートの肯定的評価は93%である。 ◎全授業で生徒が思考する時間を仕組み、主体的に学ぶ生徒が増えた。	4	4	4	授業形態の手法を校内で共有し合うことで、より生徒の主体性を高めていく。また、タブレット端末の活用方法を適宜交流し合う場を設定する。
3	主体性・積極性の育成	★	継続	意欲を持って自治的な活動ができる生徒を育成する。 【課】	年間を通して委員会活動や行事等、縦割りの集団を活用した自治活動(城興CUP)の取組を行う。	生徒アンケート「学年・学級の課題及び委員会活動に意欲的に取り組んでいる」を80%以上。	生徒アンケートにおける肯定的回答90%	4	4	縦割りの集団を活用した自治活動(城興CUP)の取組を計画的に実施する。	□2学期生徒アンケートにおける肯定的回答は91%である。 ◎各種委員会の活動や学年・学級の課題解決に向けて意欲的に取り組む生徒が増えた。	4	4	4	班活動・学級活動の充実を図るために班長会を計画的に実施し、リーダー育成を図る。
5	自己の健康管理と体力の向上に取り組む生徒の育成		継続	意欲的に目標管理に取り組む生徒を育成する。 【主】	無遅刻無欠席の取組を行い、年度末の皆勤賞・精勤賞の表彰につなげる。	無遅刻達成日数が授業日数の60%以上のクラスを全クラス中6クラス以上。	無遅刻欠席日数60%以上7クラス	4	4	コロナ対策を継続し、健康管理の意識を高める。冬季の部活動時間を確保し、体力の向上を図る。	□無遅刻欠席日数60%以上8クラスである。 ◎皆勤賞・精勤賞を目標に自己管理に取り組む生徒が増えた。	4	4	4	無遅刻無欠席日数の目標・結果を連絡黒板に毎月提示する。
3	確かな授業力と専門性を高める教職員	★	継続	仕事のスピード化、効率化を意識した業務を行う。 【課】	勤務時間7時間45分を意識した業務を行う。	時間外勤務時間が45時間を超える教職員0人	45時間を超える教職員は4月0人、5月0人、6月8人、7月5人、8月0人、9月8人であった。全体では、時間外在校時間は減少している。	3	2	計画的に業務が行えるように、予定を2月前に提示、確認する。	□45時間を超える教職員は10月13人、11月4人、12月5人、1月4人であった。 ◎勤務時間7時間45分を意識し、効率的な業務が増えている。	3	2	3	分掌内での役割等を見直し、効率的に業務を分担する。行事を精選する。
6	保護者・地域から信頼される学校経営		継続	自ら進んで地域貢献ができる生徒を育てる。 【共】	地域ボランティアへとして地域の活動に参加させる。	地域ボランティアや地域行事に参加できる生徒をのべ200人以上。	新型コロナウイルスの影響で地域ボランティアに参加できなかった。地域ボランティア2人。校内ボランティア26人。	1	1	校内ボランティアを積極的に仕組む。	□部活動ごとに校内清掃等を実施した。 ◎人のために貢献できる生徒が増えている。	2	2	2	生徒会による校内外でのボランティア活動を実施する。

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。